



**Kyoto  
Institute of  
Technology**

**京都工芸繊維大学**

**地域創生 Tech Program**

地域創生課題セミナーI ものづくりインターンシップI へのご協力のお願い

教員&コーディネーター紹介  
4年間の流れ  
地域創生課題セミナーI  
ものづくりインターンシップI  
よくある質問

# 01

## 教員&コーディネーター 紹介



工学科学部 副学部長・地域創生 Tech Program 長  
桑原 教彰 教授 (情報工学・人間科学系)

京都府北部の企業様、自治体様には、地域創生Tech ProgramのPBL科目やインターンシップへご協力を賜り、改めてお礼申し上げます。  
地域創生Tech Programで学ぶ学生は、PBLやインターンシップを通して自分の専門性がどのように企業の中で発揮できるのかを学ぶことができました。学生からは「企業における研究開発の在り方を学べた」など、非常に充実した期間を過ごすことができたという感想が届いています。また、京都府北部において自分が活躍できる場を見つけられたのではないかと思います。今後とも、お力添えをよろしくお願いいたします。



地域創生 Tech Program 担当教員  
大谷 章夫 准教授 (繊維学系)

いつも地域創生Tech Programの学生に貴重な機会を与えていただき、本当にありがとうございます。  
地域創生Tech Programの学生たちは、PBLで多くの経験を積むとともに、インターンシップでは様々な企業が日本や世界を支えているということを実感できたと思います。PBLやインターンシップでの経験が学生のモチベーションにつながり、様々な形で活躍できる人材になってくれるものと期待しております。  
改めて感謝を申し上げるとともに、今後ともよろしくお願いいたします。



産学公連携コーディネーター  
諏訪 吉昭

インターンシップやPBLには、受け入れていただく企業様のご理解とご協力が不可欠です。京都府北部の多くの企業様に格別のご配慮賜りましたことを厚く御礼申し上げます。  
学生には、各課程(専門分野)で学んだことを活かせる業種でのインターンシップを推奨し、マッチングを行いました。また、複数の企業様で就業体験することにより、様々な企業文化や企業風土を感じ取ることができたと思います。この経験が、これからの研究や近い将来の就職に必ず生きてきます。改めて、このような機会をご提供いただきました企業様と各自治体の皆様へ感謝申し上げます。

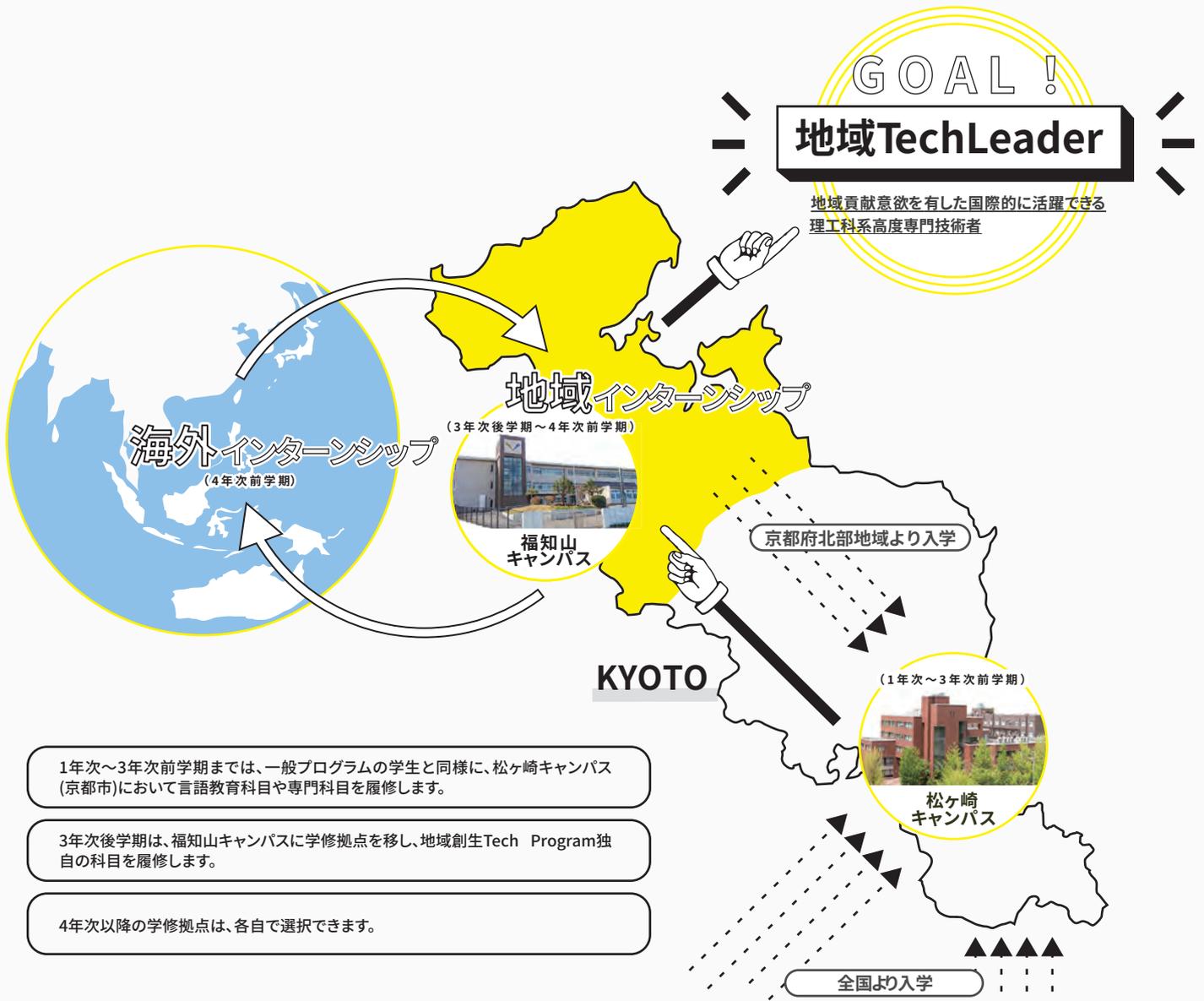


産学公連携コーディネーター  
新田 稔

京都府北部の企業や行政機関の方々には、お忙しい中、インターンシップの受け入れや指導、PBLにおける課題解決に向けた調査等について大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。  
学生は、インターンシップやPBLを通じて、企業や行政機関の考え方や仕事の進め方など、今まで体験しなかったことを多く学ぶことができました。今後、その体験を研究や就職に一層活かしていくことになると思います。今後とも、企業、行政機関と学生を繋いでいきたいと考えておりますので、引き続きご協力等をお願い申し上げます。

# 02

## 地域創生Tech Program 4年間の流れ



1年次～3年次前学期までは、一般プログラムの学生と同様に、松ヶ崎キャンパス(京都市)において言語教育科目や専門科目を履修します。

3年次後学期は、福知山キャンパスに学修拠点を移し、地域創生Tech Program独自の科目を履修します。

4年次以降の学修拠点は、各自で選択できます。

主に松ヶ崎キャンパスで学修		主に福知山キャンパスで学修		どちらのキャンパスで学修するか選択可能			
1年次		2年次		3年次		4年次	
前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期
主として地域創生Tech Programに向けた科目				地域創生Tech Programだからこそ修得できる科目			
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域課題導入セミナー</li> <li>● リーダーシップ基礎Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 知的財産経営論</li> <li>● リーダーシップ実践Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アントレプレナーシップ概論</li> <li>● 知的財産概論Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 特許法・実用新案法Ⅰ・Ⅱ</li> <li>● 民法概論Ⅰ・Ⅱ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 知的財産演習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域創生課題セミナーⅠ</li> <li>● ものづくりインターンシップⅠ</li> <li>● 繊維科学概論</li> <li>● 複合材料科学</li> <li>● 先端複合材料学</li> <li>● 複合材料基礎実験</li> <li>● 先端情報工学概論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業プロジェクト</li> <li>● 地域創生課題セミナーⅡ</li> <li>● ものづくりインターンシップⅡ・Ⅲ</li> <li>● 複合材料ものづくり実験</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 卒業プロジェクト</li> </ul>		
地域創生Tech Program以外の学生と同等の科目							
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 言語教育科目、人間教養科目など</li> <li>● 各課程の専門教育科目</li> </ul>							

●...必修科目

# 03

## 地域創生課題セミナー I

### 授業の内容・目的

 府北部の企業等から提供いただいた課題の解決にグループで取り組みます。

 解決策の提案にとどまらず、プロトタイピング(試作)までを目標としています。

 自ら手がけた課題解決案が具現化することにより、学生は課題に取り組んだ地域への関心と愛着を高めます。

### お願いしたいこと

- 1 テーマのご提供
  - 各学生の専門性を活かすことができる
  - 2ヶ月間で簡単な試作までつなげることができる
- 2 授業期間中の学生へのご指導
- 3 中間報告会・最終報告会へのご出席

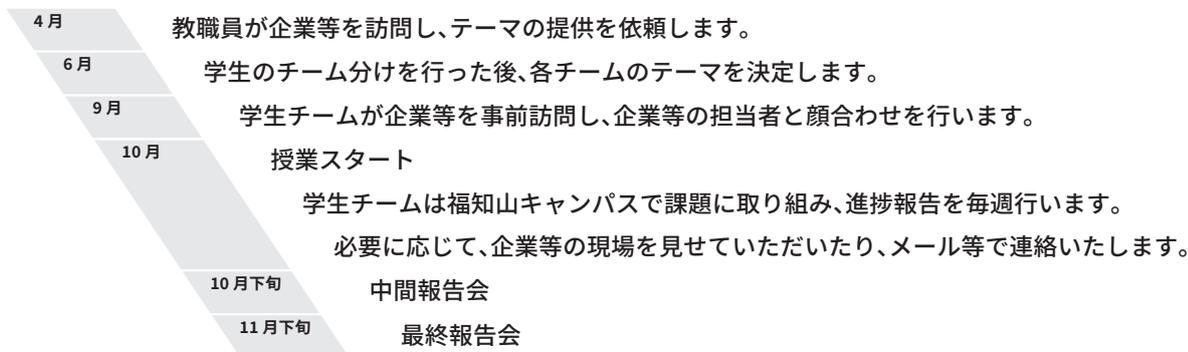
### 授業の概要

受講学生  
地域創生Tech Program3年次生

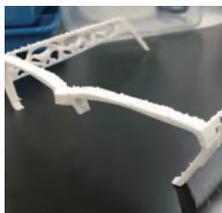
授業期間  
10月～11月の約2ヶ月間

1チーム  
4～5名（異なる専門性を有した学生で構成）

### 大まかな流れ



制作された模型



3Dプリンタで試作した  
メガネフレーム



最終報告会の様子



最終報告会後の交流会の様子

## 製品化など社会実装につながった例

西日本旅客鉄道株式会社

### 福知山駅コンコースを有効活用する空間デザイン等の検討

「駅中の賑わい作り」というテーマを与えられた学生チームは、ユーザーアンケートや人の流れなどの調査を経て、コンコースを地域住民の「くつろぎ・集い」の場にするためのベンチを設計しました。



株式会社Localize

### 福知山市新町商店街の空き家の活用の検討

「福知山市新町商店街の空き家の活用の検討」という課題を与えられた学生たちは、商店街でのヒアリングやシール投票などを経て、30年以上も空き店舗だった紳士服店を改修し、厨房付きレンタルスペース「アーキテンポ」として生まれ変わらせました。



## これまでの取組テーマ

### 2018年

京丹後市	福祉と観光との連携による地域活性にむけて
西日本旅客鉄道株式会社	福知山駅コンコースを有効活用する空間デザイン等の検討
株式会社Localize	福知山市新町商店街の空き家の活用の検討
グンゼ株式会社	非公開
福知山市	夜久野のみつまたの日本紙幣への活用の検討

### 2019年

日本ビラー工業株式会社	快適なクリーンルーム職場作り
タマヤ株式会社	綾部駅連絡通路を「おもてなし」空間とするデザイン
国産部品工業株式会社	オリジナルノベルティグッズのデザイン・制作
日東精工株式会社	企業内敷地における生物多様性保全の実現
株式会社日進製作所	バイオマス樹脂を使用した展示会用製品の製作

## ご協力いただいた企業からの感想 ☞

- 学生達の柔軟な思考と斬新なアイデア、発想を目にし、学ぶことも多く、刺激を受けました。
- 学生の笑顔を見ると達成感・充実感を覚えました。
- 自社、自部門の業務を見直す良いきっかけとなりました。
- 以前より温めていた取り組みを、今回の授業を機会にスタートすることができました。
- 当社を学生に知ってもらうことができました。

# 04 ものづくりインターンシップ I

## 授業の内容・目的



府北部の企業や自治体で計4週間以上のインターンシップを経験することで、学生の地域企業への認知度を高めます。



学生に複数の企業等に目を向けさせるために、1つの実習先につき2週間のインターンシップを基本としています。

### 授業の概要

受講学生 地域創生Tech Program3年次生

実習時期 12月から1月

実習期間 2週間/1機関 + 2週間/1機関  
+ 京都府北部企業見学ツアー(1週間)

### 大学が期待するインターンシップの内容

学生が「働くこと」をイメージできるような実習内容をご用意ください。具体的には、社員の方の補助をさせてもらうケースや、仕事の流れが理解できるように、複数の部門を体験させてもらうケースがあります。

単なる「企業見学」ではなく、実際の業務の様子を味わうことで、学生の企業等への理解度や満足度がより高まります。

## 大まかな流れ

### I インターンシップの受け入れを打診

教職員が企業等を訪問し、インターンシップの受け入れの可否を打診します。



### II 受入可能な企業に依頼状を送付

大学から正式な依頼状をお渡しします。その際、受入承諾書を同封しますので、ご返送をお願いします。



### III インターンシップの内容等の整理

ご提出いただいた受入承諾書に基づき各企業等のインターンシップ情報を一覧表に纏めます。



### IV 学生の希望確認・マッチング

学生にインターンシップの一覧表を示して、学生の希望や専門分野を考慮の上、マッチングを行います。



### V 事前指導・研修

大学で、インターンシップを受講するにあたっての心構え、留意事項などを指導します。



### VI インターンシップの実施、モニタリング

学生が実習先に赴き、インターンシップを実施します。担当教員やコーディネーターが、実習先の担当者と密に連絡を取り、学生のインターンシップの状況をモニタリングします。



### VII 実施報告、成績評価

学生は、学修した内容をパワーポイントにまとめて最終報告会で発表を行います。併せて、実習先からの当該学生に係る評定書などを総合して、担当教員が成績評価を行います。



## インターンシップの受け入れを承諾いただいた企業等一覧（各市町ごとに50音順）

イ ...2018年度または2019年度にインターンシップを実施した企業等

北 ...本社が京都府北部にある企業等

### 福知山市

株式会社Anku	イ	北
SECカーボン株式会社	イ	
エスベック株式会社	イ	
株式会社オカムラ	イ	北
株式会社長田野ガスセンター	イ	北
加美電機株式会社	イ	
株式会社関西金属工業所		
京都薬品工業株式会社	イ	
株式会社神戸製鋼所	イ	
サンキン株式会社	イ	
株式会社大洋発條製作所		
但南建設株式会社	イ	
一般社団法人日本血液製剤機構	イ	
日本ビラー工業株式会社	イ	
ニンバリ株式会社	イ	北
ヒエン電工株式会社	イ	
福知山市役所	イ	北
福知山重工業株式会社	イ	北
株式会社堀場エステック	イ	
松尾電機株式会社	イ	
武蔵キャスティング株式会社	イ	北
ヤマウチ株式会社	イ	
ユーハン工業株式会社		北
株式会社ヨネダ		北
株式会社Localize	イ	北

### 綾部市

綾部市役所	イ	北
株式会社エフエムあやべ	イ	北
オムロン エキスパートリンク株式会社	イ	
株式会社片山化学工業研究所	イ	
京セラ株式会社	イ	
国産部品工業株式会社	イ	北
住友理工ホーステックス株式会社	イ	北
タマヤ株式会社	イ	北
日東精工株式会社	イ	北
日東薬品工業株式会社	イ	
株式会社堀内機械		
株式会社本田味噌本店	イ	
三ツ星ベルト技研株式会社	イ	

### 舞鶴市

株式会社エナミ精機		北
株式会社田中工務店		北
舞鶴市役所	イ	北

### 宮津市

WILLER TRAINS株式会社	イ	北
金下建設株式会社	イ	北
宮津市役所	イ	北

### 与謝野町

有限会社アリアソシエイツ	イ	北
与謝野町染色センター	イ	北
与謝野町役場	イ	北

### 京丹後市

株式会社章城製作所		北
株式会社オー デザインチャンネルズ	イ	北
京丹後市役所	イ	北
株式会社積進		北
株式会社タムラ		北
株式会社タンゴ技研		北
株式会社日進製作所	イ	北
株式会社峰山鉄工所		北

## インターンシップの様子



# 05 よくある質問

## 地域創生課題セミナー I

Q どのようなテーマを提供すればよいのかわかりません。

異なる専門性を有した学生でチームが構成されるため、様々な専門性を活かすことのできるテーマが理想的です。また、学生チームが課題に取り組む期間は約2ヶ月間となるため、2ヶ月後に課題解決案の実現にむけた「試作段階」まで到達できていることが、学生の満足度につながると考えられます。

Q 学生チームとは、どの程度連絡をとればよいのでしょうか？

週に1回は進捗報告をするよう教員から学生へ指導しています。学生チームは、教員に対して毎週進捗報告を行っており、その準備や、テーマへの理解を深めていく中で疑問が生まれた場合は、学生からメールや電話で適宜連絡させていただきます。

## ものづくりインターンシップ I

Q インターンシップ中の事故や怪我、機器等の破損、機密保持に対する備えはどうなっていますか？

インターンシップ中の怪我や損害賠償に備え、傷害と損害賠償責任の両方に対応した保険に加入するよう学生に義務付けています。また学生には、機密情報を漏洩しないこと等についての誓約書を提出することを義務付けています。

Q 学生の希望に沿った実習内容を用意したいが、学生の希望を事前に教えてもらうことはできますか？

教職員を通じて、学生の専攻や希望する実習内容をお知らせします。また、インターンシップの開始に先立ち、企業等と学生との顔合わせの機会を設ける場合もあります。

Q 企業等の事業概要をある程度理解したうえで実習に参加してほしいのですが、学生に事前課題を与える機会はありますか？

学生には、実習前に企業等のホームページなどで事業概要を確認するように伝えていきます。その他、特に予習すべきことがある場合は、受入承諾書の「学生が予習すべき事柄」にご記入ください。

Q 受け入れた学生に就職してほしいのですが、声かけを行ってもよいですか？

例年7割程度の学生が大学院に進学します。もちろん就職は学生の自由意思に基づくものですが、お声掛けいただいても問題はありません。

### 松ヶ崎キャンパス



### 福知山キャンパス



発行日 2020年4月1日  
お問い合わせ先 産学・地域連携課 地域連携係  
〒606-8585 京都市左京区松ヶ崎橋上町1  
TEL: 075-724-7106  
E-mail: chiiki@jim.kit.ac.jp  
デザイン 渡邊一正 工芸科学部 デザイン経営工学課程(地域創生Tech Program)